

医療費節減のために

年々増加する医療費。医療費抑制には健(検)診を受けて
早期発見・早期治療とジェネリック医薬品の利用が有効です。

国民健康保険の医療費は、高齢化や生活習慣病の増加などにより、年々増加の傾向にあります。医療費は皆さんに、国保(税)と国や地方自治体の「公費」によって成り立っています。このまま医療費が増えれば、支出に見合う収入を確保するために保険税を引き上げなければなりません。そうならないためにも、家計にも優しい上手な受診を心がけて医療費の節減にご協力をお願いします。



特定健診を受け 病気を予防しよう

特定健康診査は、糖尿病などの生活习惯病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するために行うものです。病気が進行してからの治療には多額の医療費がかかります。自身の健康管理と病気の早期発見、早期治療のためにも特定健診を受けましょう。

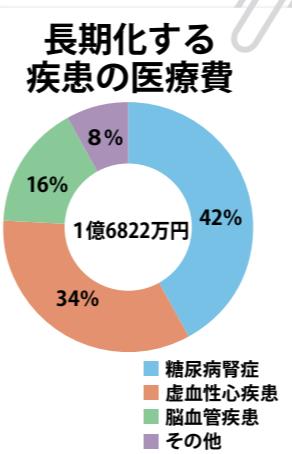
今年度の特定健診は
11月30日まで。
国民健康保険加入者以外の方につきましても、各事業所での特定健診を実施しています。



長期化する疾患の医療費

長期化する疾患の医療費のグラフを見ると、糖尿病腎症・虚血性心疾患・脳血管疾患の医療費で約1億5500万円かかっていることがわかりります。内臓脂肪の蓄積が関与しており、肥満に加え、高血糖、高血圧などが重複した場合には糖尿病腎症・虚血性心疾患・脳血管疾患などの発症リスクが高くなります。

糖尿病腎症になつてしまふと、透析を行ふことにつながります。



実際に透析をしている方にお話を伺いました。

たまたま風邪をひいて病院に行つたことで腎臓の悪化を発見できましたが、今思うと病気が悪化する前から健診を受けておくべきだったと後悔しています。現在は月・水・金曜日の週3回、1回4時間の透析に通っています。

通院や治療の拘束時間も長いし、旅行をするにも「旅行先で飛行機が欠航にならないか」と余計な心配をしなくてはならぬですね。

県南ブロック腎友会 代表 日高 登さん

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許が切れた後に作られる後発のお薬のことです。先発医薬品と同じ有効成分で作られるので、同等の効能を持ちながら開発にかかる期間が先発医薬品に比べ短いため価格が大幅に安く設定されています。もちろんいろいろな厳しい基準や規制をクリアした薬なので安全性も問題ありません。

普段利用している薬をジェネリック医薬品に代えることで、少しでも医療費を抑えることができ、窓口負担を減らすことができます。

全ての薬品にジェネリック医薬品があるとは限りません。また、医師の判断により変更できない場合もあります。まずは、かかりつけの医師や薬剤師にご相談ください。

串間市のジェネリック医薬品の利用率

串間市のジェネリック医薬品の利用率(金額ベース)が調剤全体に占める割合は約16%です。これを代替可能な先発医薬品を全てジェネリック医薬品に切替えた場合約33%、金額にすると月約320万円。年間だと約3,800万円を削減することができます。

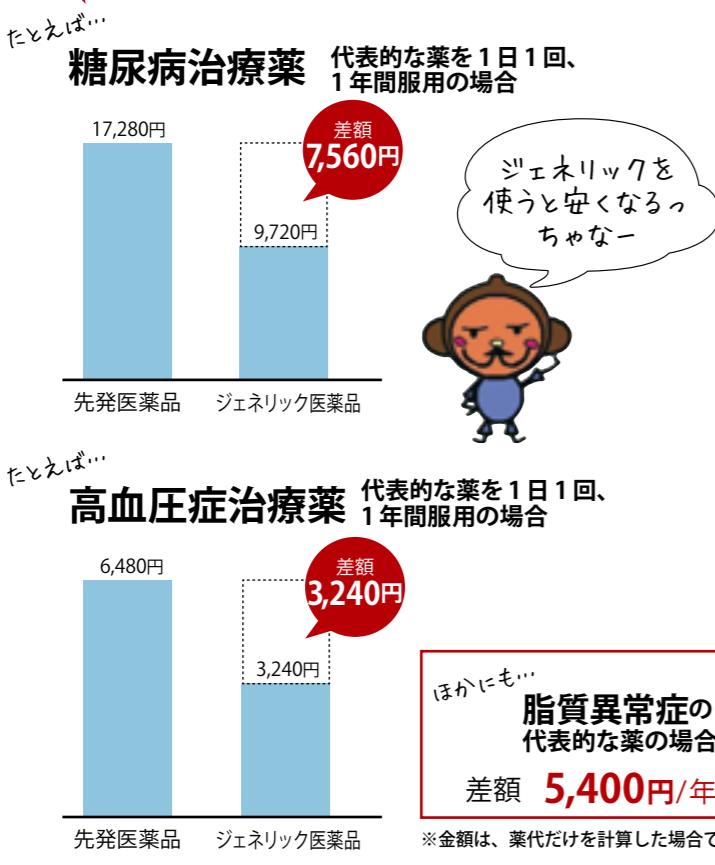
本市では、ジェネリック医薬品に変更した場合に医療費がどれくらい安くなるかを対象者の方に通知しています。

ジェネリック医薬品を希望するには

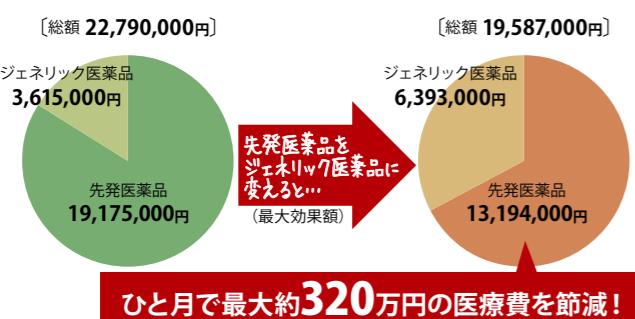
□ ジェネリック医薬品への変更希望を医師や薬剤師に相談しましょう。
□ 「ジェネリック医薬品お願いカード」を提示して希望を伝えることもできます。

*すべての先発医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。

こんなに
お得!



串間市のジェネリック医薬品の利用率
平成27年7月調剤分



問い合わせ先

総合保健福祉センター
医療介護課医療保険係
☎ 72-10333